

## 経済学部

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

経済学部は、本学の建学の精神をバックボーンとし、地域社会および国際社会に貢献する人材育成を目標とし、以下に示す能力を修得したと判断された人に学士（経済学）を授与します。

- 一般教養、外国語、情報処理などにおける基礎的な能力と、社会を生き抜くための幅広い能力
- 経済学を中心とする社会科学の基礎的な知識に基づき、論理的思考によって変化する社会を適切に分析・理解できる能力
- 現実の経済問題を適切に把握して、実際の経済社会に応用でき、社会の一員として日本の内外で活躍できる能力
- グローバルな視点に立ち、日本や世界の諸問題の解決に取り組む能力

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経済学部は、世界と日本の経済の仕組みやその動向を理解し、分析する能力を身につけることを目標とした教育課程を編成しています。そのために、経済学に関する基礎科目ならびに専門科目・教養科目・外国語科目をバランスよく各学年に配置しています。また、学生の将来の進路の道しるべとして、「アジア・国際経済コース」「企業・産業経済コース」「金融・証券経済コース」「地域・環境経済コース」の4つのコースを設定しており、どのコースを選択しても、学位を受け取れる能力が養えます。

- 基礎的な能力、社会を生き抜くための能力の修得のために初年次セミナー、ゼミナールなどの基本科目および関連科目を配置しています。
- 社会科学の基礎知識およびその応用方法について学びやすいように基礎から応用へ段階的に学べる教育課程を編成しています。
- 修得した知識を実際の経済社会に応用することをゼミナールなどで学びます。
- グローバルな視点を修得するために、各種外国語、オール・イングリッシュで学べる科目を配置しています。
- 教員志望の学生に対して、体系的な教職課程教育と教職人材育成プログラムにより、優秀な教員となるための支援を行います。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

経済学部は、本学の建学の精神である「学問による人間形成」をバックボーンとし、地域社会および国際社会に貢献しうる能力の獲得を目指し、学問として学んだことを社会で活かそうとする、以下のような人の入学を求めています。

### 知識・専門性・技能

- 経済学を学ぶうえでの必要な基礎学力をもつ人
- 高等学校で履修するのが望ましい教科・科目：英語、国語、数学、地理歴史・公民（日本史、世界史、政治経済）
- 高等学校で取得するのが望ましい資格：実用英語検定、簿記検定

### 思考力・判断力・表現力

- 実際の経済社会の問題を分析するために必要な基礎学力の習得に熱心な人
- グローバルな視点に立った物の見方・考え方ができ、日本や世界の諸問題の解決に取り組むことに熱心な人

### 主体的に取り組む態度

- 論理的な物の見方・考え方に興味をもち、専門的な能力の習得に意欲をもつ人
- 実際の経済社会にあてはめて応用できる思考力・判断力・表現力を養うことに意欲をもつ人